

宇和島にやってきた!

僕ら地域おこし協力隊!

Wind

Mountain

Sun

Field

&

People

Ocean



## 地域おこし協力隊活動レポート vol. 04

### 野内 隆行 × 山口 一光

御槇地区地域おこし協力隊の野内です。「御槇米」の販路拡大を中心に活動しています。徐々にではありますが、全国から注文が入るようになり「御槇米」の特徴についての問い合わせも多く受けるようになりました。

生産者の思いを届けるため、日常業務としてヒアリングは欠かせません。今回は、御槇米生産協議会会長の山口一光さんにお話を伺いました。

**野内** 早いもので着任から約1年が過ぎました。今年度もよろしくをお願いします。

**山口** よろしくをお願いします。

**野内** あらためてお聞きします。お米作りで特にこだわっている点は何ですか？

**山口** 特別なことをやっているつもりはありません。家族が安心して食べられるように心をこめて育てています。

**野内** 栽培する上で、この地域

ならではの特徴があれば教えてください。

**山口** 清らかな水、昼夜の寒暖差など栽培条件に優れているということは確かにありますが、結局最後は人の手や心が作るもの。御槇の農家はこまめに稲を観察して、丁寧に育てる方が多いと思います。成長に合わせて管理をするということです。

**野内** 親心ですか？

**山口** まあ、そんなところでしょう。私の家族は子や孫も一緒に食事をとることが多いのですが、自分の手で作ったお米を皆で食べるというのは何にも代え難いものです。

**野内** 確かに、皆で食べると美味しいですね。

**山口** もう、美味しいとか味とかはこれが当たり前になってよく分からないけれど…

**野内** 楽しい会話が弾む様子が想像できます。

**山口** 家族に限らず、誰かと楽しい食事の時間を共有できることがとても楽しみですね。

**野内** 今年は私も米作りに挑戦します。どうぞよろしくお願いします。

**山口** ひと作業毎に教えるから、頑張ってみなさい。



米の花



御槇地区の水田風景

美味しさには数値で測れない「何か」が潜んでいると思います。お客様からは「御槇米は有名な米どころよりも美味しいし、優しさを感じる!」という感想をいただきました。今後も、より多くの方に味わっていただくため、活動に力を入れて行きます。

「僕ら地域おこし協力隊!」は、今回で最終回です。連載は終わりますが、地域おこし協力隊の4人は、これからも地域のために日々活動して行きます。これからもよろしくお願いします。

【問合先】企画情報課 ☎24-1111 内線2526



御槇米のパッケージ